

サッカーW杯アジア予選に影響した感染症!?

- ・国立感染症研究所によると、2023年の1年間に全国から報告された劇症型溶血性レンサ球菌感染症の患者数が**941人(速報値)**となり、**過去最多の報告数**となりました。
- ・**病原性・伝播性が高い株**が2023年夏以降に**日本国内で初めて確認**されています。
- ・2024年第11週(～3月17日)までの時点で**既に517人**が報告されており、これまで以上に報告数・感染者数が増加することが危惧されています。

まさかの不戦勝!?

今月26日に予定されていたサッカーW杯アジア予選の北朝鮮VS日本戦について、**日本で劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告数が増加していることにより、北朝鮮が自国開催(北朝鮮での開催)を返上しました。**試合の開催が危ぶまれています。

群馬県でも2023年に11件の届出がありました。

今年も第11週までに**14件の届出**があり、**既に昨年1年間の届出数を超えています。**



感染した場合の症状

- 【初期症状】**手足の強い痛みや腫れ、創部の発赤、風邪様症状(咽頭痛、発熱等)、**
消化器症状(吐き気、嘔吐、下痢) ※明らかな症状がない場合も
- 【特徴】症状の進行が早く、**発症後数十時間以内に**筋肉や脂肪の炎症や壊死、
 血液凝固異常、呼吸障害、多臓器不全が進行し、**死に至る場合も。**

詳しくは
こちらから検索

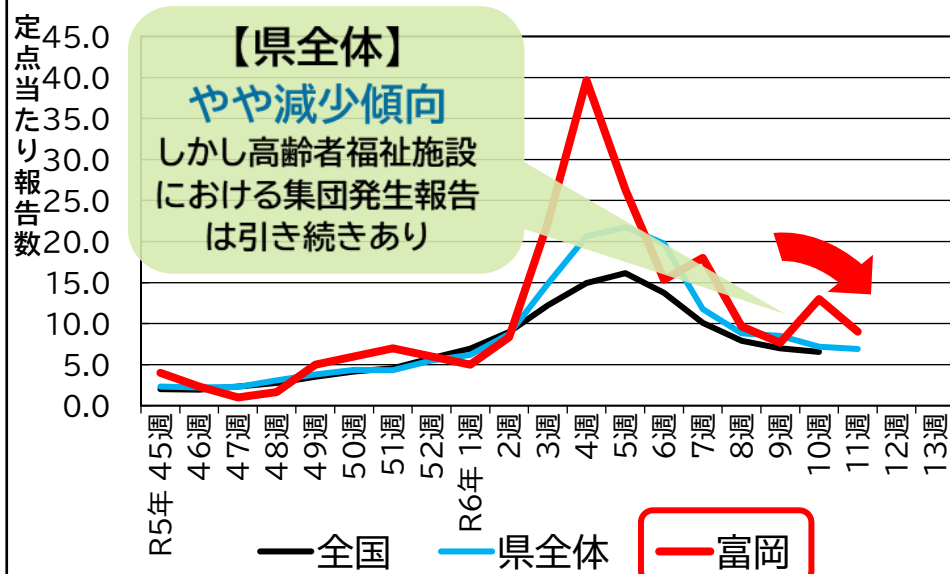


富岡保健
福祉事務所 HP

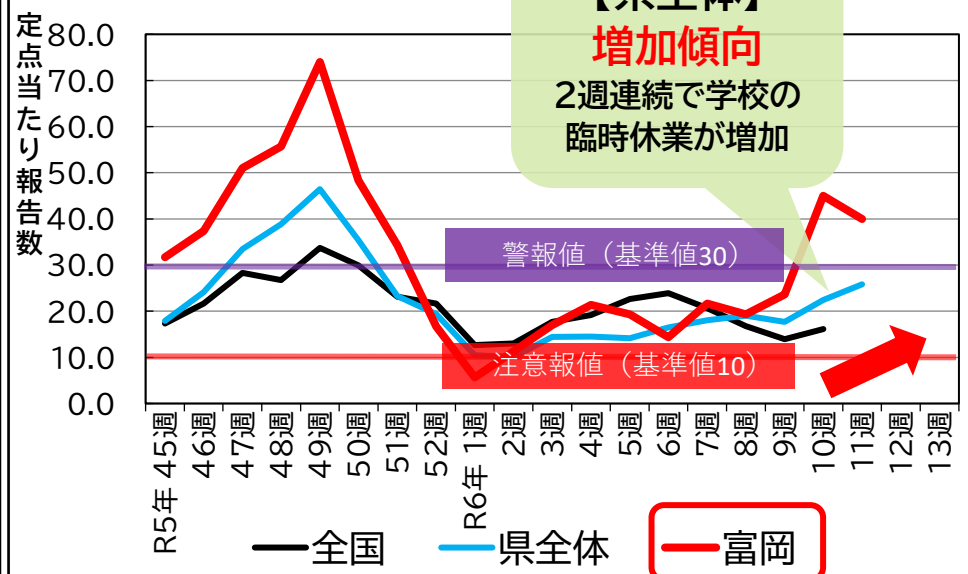
全数報告(富岡保健所管内)

【4類感染症】レジオネラ症 1件

新型コロナウイルス感染症



インフルエンザ



※感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査(群馬県)のデータを元に集計・作成しております

★その他の感染症の情報は群馬県ホームページで公開しています★
 「群馬県感染症情報」で検索するか、以下URLもしくはQRコードからご確認ください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>

